

特定非営利活動法人

# ピッピ・親子サポートネット



横浜市青葉区荏田西3-1-19 Tel 045-910-0662 Fax 045-910-0663  
URL: <http://npo-pippi.net/> 発行責任者 友澤ゆみ子

**新**しい年が明けました。今年もどうぞよろしくお願ひいたします。  
2021年のはじめにあたり、ピッピ・親子サポートネットの昨年の主な取り組みを振り返り、今後につなぎたいと思います。



## 食でつながる フードドライブ・フードパントリー

ピッピの各拠点で呼びかけ集まった食品を、必要とする方と分けあう「フードシェア\*いちがお」の活動が、7月からスタート。タウンニュースに取り上げられたこともあり、多くの食品が寄せられました。12月にはクリスマスプレゼントでお菓子をいっぱい箱に詰め、バスを乗り継ぎ届けてくださった方もありました。社会の変化に影響を受けやすいひとり親家庭の方たちなど、受けとりに来られる方達ともコミュニケーションが生まれています。「食を通じてつながる」を実感します。(理事長 友澤ゆみ子)



12月の分け合い会には手作りケーキも届きました

## 青葉フードシェアネットワークがスタート



フードシェア\*いちがおの取り組みから、さらに区内で同様の活動をしている団体と「食」でつながる取り組みをより広げたいと、6団体(横浜北生活クラブ生協、いちがおデポ運営委員会、わかば commons 運営委員会、NPO 法人スペースナナ、フードシェア青葉、NPO 法人ピッピ・親子サポートネット(フードシェア\*いちがお)が集まり「青葉フードシェアネットワーク」が誕生しました。各拠点に集まった食品をシェアしたり、必要とされている方を紹介したり、取り組みの広がりが期待されます。



詳しくはこちらのfacebook pageをご覧ください



チラシを作成し、近隣施設に配架

## 新型コロナウイルス感染症問題

残念ながら未だ終わりが見えず、むしろ厳しさを増す状況です。法人全体で対策チームを持って、タイムリーな情報収集と対策の検討→実施→見直しにより対策を進めています。

昨年4、5月の緊急事態宣言発令中には、保育園や親子の集いの広場事業や一時預かり事業の利用自粛要請が出され、利用者・家族の皆さんに協力を頂きながら対応することとなりました。また介護保険事業所(デイサービス)でも、安全を最優先し利用人数・時間の制限などを実施。こちらも多くの協力をいただきました。一方、国や県、横浜市から次々出される通知などに現場で戸惑いながら対応した経緯もあります。これらの影響を把握し今後に生かすために、ピッピでは他団体と連携し、4つのテーマで調査に取り組みました。(2、3面に結果概要を掲載)コロナ禍の中、引き起こされる課題について多くの気づきがあり、今後の取り組みに生かしたいと思います。

## 中期計画～未来検討PJ

少子高齢化が急速に進む中、今後、必要とされるサポート、法人や各事業所が果たすべき役割は何か?を描き、継続性をもって取り組んでいくために3つのプロジェクト(PJ)で中期期計画を策定しています。

- 保育・子育て支援の未来検討PJ
- 持続可能な組織をめざすヘルパーステーション事業PJ
- 相談支援事業の未来検討PJ、これら3PJの答申をもとに、具体的な取り組みを進めます。

## 出向く支援

「持続可能な組織をめざすヘルパーステーション検討」PJでは法人事業所が連携しながら、世代交代や人材確保、また、子育て支援やソーシャルワークの視点からスキルアップをめざしています。12月からはヘルパー同行研修をスタート。つなげる・つながる仕組みをめざします。



## 同行研修でヘルパーを体験

訪問したのは、事前研修の映像で見た双子育児中のお宅です。当日は洗濯物を畳み、離乳食の介助や子どもたちの見守りをしました。ヘルパーとお母さんには信頼関係があり、ヘルパーはお母さんの動きを見て様々な事に気付き声をかけていました。コロナ禍で身近な人に手伝いを頼めない方や、育児不安を抱えている方など様々な場面でサポートを必要としている方がいるのだと改めて思いました。(ピッピ保育園 石田良恵)

## ヘルパーと一時預かりのケアに関わる意味

産前産後ケアのヘルパーとして訪問する家庭は、環境もケアの内容も日ごとに違います。掃除・料理などの家事、沐浴や授乳の補助、上に兄弟がいる場合はその遊び相手などをします。現在は、双子のいるお宅に訪問していますが、そのご家庭は一時保育も利用されることがあります。私は一時保育のスタッフでもありますが、外では頑張っていますが、少し無理をされているお母さんの様子を目にします。ヘルパーと一時保育スタッフの両方を体験することで、お母さんの困りごとに気付け、寄り添う支援ができるのではないかと思います。



みんなのいえ ヘルパーステーション (ここはつばい・ヘルパーステーション 小川ゆう子)

ピッピのヘルパーステーションみんなのいえでは「産前産後ヘルパーモニター」を募集中!



詳しくはこちら



プロジェクトの検討から生まれたヘルパーガイドブック。ヘルパーのしごとをわかりやすく伝えるためのツールです。

## 今こそ、まち保育

ピッピ保育園でのまち保育の取り組みがスタートして8年が経ちました。お散歩ルートの検証から始まり、近隣の保育園や地域のみなさんとの防災体験ワークショップを毎年行うようになり、地域とのつながりもアップしました。昨年度は、分園のピッピみんなの保育園でもお散歩ルートの検証が始まりました。

今年度は、コロナ禍ということもあり、今できる取り組みとして「お散歩ビンゴ」の準備を行っています。この企画ではビンゴカードをもって、まちに出ていきます。

横浜市立大学の学生さんたちとオンラインミーティングで打ち合わせの機会を持ち、ピッピ保育園だけでなくピッピ学童保育となりのいえやデイサービスさくら、ピッピおやこの広場はつばいからも参加して、子どもから大人までが、まちで発見して楽しめるア



お散歩ビンゴ

アイテムを出し合いました。

法人内の保育事業全体で取り組んだコロナ禍における家庭状況調査の中から、子育て家庭の孤立ということも見えてきました。地域とつながることで、子育て家庭の孤立を減らすことができる、あらためてまち保育の取り組みが大事であることに気づかされます。まち保育がもっと広がるようにどんどん発信したいと思います。

(ピッピ保育園 鈴木恵)

## 編集後記

今回のニュースレターはリモートに徹しての作成。必要に応じて作業中の画面を見ながらオンラインで打合せ。どうしてもできなかったことは出力しての色や校正、レイアウトのバランスなどなど。便利とはいえ、やはり確認作業はアナログ。仕上がりは・・・上々です! (広報 岡田)